

第3回 学校運営協議会開催報告

1. 開催日時 令和4年 10月 25日 (火) 午後1時20分～午後3時

2. 授業参観 (午後1時20分～午後2時)

10月28日の名張市小中音楽会で、5年生が「大切なもの」を歌います。本番に向け、全校児童の前でリハーサルを行い、委員の皆さんにも聞いていただきました。

5年生は18人と少ない人数ですが、これまで毎日練習を重ねてきた成果もあり、美しい歌声が体育館中に響き渡りました。「とても上手だった」「歌声がきれいですごかった」という子どもたちの感想も素敵で、心が温まる時間となりました。

各学年の授業を見ていただきました。先生の話をしっかり聞いて落ち着いて学習している姿を褒めていただきました。



3. 協議内容

①学校より

- ・児童アンケート結果、全国学力・学習状況調査結果と取組について
- ・小中一貫教育の取組（ノーメディアデー）について
- ・地域との合同防災訓練（11/19）について

〈主な意見〉

- ・「自分のことが好き」と言えるようにプラスの言葉がけをしていきたい。自己肯定感は多くの大人のかかわりで育つと思う。それこそ、ボランティアの役割だと思うので、朝の登校指導のときやグングン先生の時にプラスの声かけをしていきたい。
- ・夏休み中、少人数ではあったが、さつき台の地域で7人の子どもたちにボランティア活動してもらった。「楽しかった」「またやりたい」という声もあったので、ぜひ続けていきたい。人の役に立つという経験は、自己肯定感を高めると思う。
- ・あいさつを返す子どもたちが増えてきた。
- ・小中一貫教育の取組が具体的に進んでいるのは良いと思う。同じように保育所との連携も深めていきたい。

②熟議 「ありがとう」の学校づくりをめざし、各部会の活動を具体化させよう。

<学校支援部>

○ゲンゲン先生

- ・どのような効果があったか検証する必要がある。
- ・もう少ししっかり教えたいと感じる児童がいる。
人員の確保が必要。
- ・教師の経験がないので不安。教え方が悪いときは遠慮なく言ってほしい。



○地域学習（昔話、平和学習）

- ・薦原の昔話の紙芝居を作りたい。朝の読書の時間に読み聞かせができる。
- ・平和学習も大切だと思う。地域の戦争体験のある人の話が聞けたらいいが、体験のある人は高齢で直接児童が話を聞くのは難しい。人から聞いた話を知っている人や戦時中のものを持っている人はCSの関係者にもいるので必要ならば声をかけてほしい。

○保育所との連携

- ・体験入学の時に1年生と交流する活動を予定している。
- ・読書活動とつなげて、児童が自分のおすすめの本を保育所に紹介しに行くというのも良いと思う。

<地域協働部>

- ・1月14日（土）に花壇の整備を行う。
- ・区長さんを中心に「子どもを守る家」の登録者名簿を確認する。市教委とまちづくりからの文書に子どもたちのお礼の手紙を添えて届ける。
- ・11月6日の「コモコモふれあいまつり」に児童の参加はなしになったが、ありがとうの気持ちを届けるために、児童会が中心になってプレゼント作りをしている。
- ・学校林を利用した学習を検討する。